

富山高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	航海英語Ⅰ	
科目基礎情報							
科目番号	0029		科目区分		専門 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	商船学科		対象学年		2		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	「はじめての船上英会話」(海文堂)						
担当教員	中谷 俊彦,西井 典子						
到達目標							
1. 航海系の船舶職員が利用する専門的な英単語を理解し活用できる 2. 航海系の船舶職員が利用する専門的な英語フレーズを理解し活用できる 3. 航海系の船舶職員が利用する専門的な英会話を理解し活用できる							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		専門的な英単語を十分に活用できる		専門的な英単語を活用できる		専門的な英単語を活用できない	
評価項目2		英語フレーズを十分に活用できる		英語フレーズを活用できる		英語フレーズを活用できない	
評価項目3		英会話を十分に活用できる		英会話を活用できる		英会話を活用できない	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		航海系の船舶職員が利用する専門的な英単語・英語フレーズ・英会話を理解し応用する技能を学ぶ					
授業の進め方・方法		教員単独による講義を実施する					
注意点		3級海技士(航海)第1種船舶職員養成施設「上級航海英語」講習に該当。 各教員が定期試験と小テスト・提出物などにより50点分ずつ評価し、これを足しあわせて本科目の成績とする。 評価が60点に満たない者は、願い出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者にとっては、その評価を60点とする。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス		授業の目的を理解し説明できる		
		2週	部署配置		部署配置の場面での英会話を理解し応用できる		
		3週	出港		出港の場面での英会話を理解し応用できる		
		4週	入港		入港の場面での英会話を理解し応用できる		
		5週	抜錨		抜錨の場面での英会話を理解し応用できる		
		6週	投錨		投錨の場面での英会話を理解し応用できる		
		7週	機器等運転		機器等運転の場面での英会話を理解し応用できる		
		8週	中間試験		中間試験		
	2ndQ	9週	中間試験の解答 操舵号令		試験返却・正解答解説 英語での操舵号令を理解し応用できる		
		10週	航海状況の報告		英語での航海状況の報告を理解し応用できる		
		11週	周囲状況の報告		英語での周囲状況の報告を理解し応用できる		
		12週	気象の報告		英語での気象の報告を理解し応用できる		
		13週	変針		変針の場面での英会話を理解し応用できる		
		14週	当番の交代		当番の交代の場面での英会話を理解し応用できる		
		15週	期末試験		期末試験		
		16週	成績評価・確認		試験返却		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	30	0	0	0	20	0	50
専門的能力	40	0	0	0	10	0	50
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0